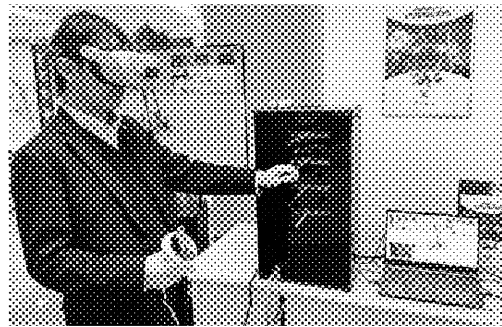


企業向けVR訓練装置

ダイテック、事業の柱に育成

【広島】ダイテック（広島市中区、繁本明彦社長）は仮想現実（VR）と実機を組み合わせた企業向けトレーニングシステムを販売する。現在、VRの利用はゲームなど消費者向けが先行して普及しており、今後は企業向けの利用も広がる見通し。VRトレーニングシステムなどのデジタル部門を事業の柱に育成する方針だ。



▲ダイテックの企業向けトレーニングシステム。VRゴーグルやレバー装置などで構成する

【広島】ダイテック（東京都府中市）と業務提携した。同システムはVRゴーグルとコントローラ、レバー装置などで構成。利用者は実物同様のレバー装置を操作し、クレーンで対象物を上げたり、下げたりする操作をVRで行う。価格は利用条件によって異なるが、初期費用として初年度に100万円程度（消費税抜き）を見込む。

大興（広島市中区）のグループ会社で、自動車や産業機械、電子機器などのマニュアル作成を主力事業とする。デジタル部門強化のため1月、山口県宇部市に宇部事業所を開設。VRなど同社のデジタル技術を体験できるスペースも設けている。